

第 10 章 愛知県総合教育センター

第 1 節 事業方針

1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会との連携のもとに、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。そのために実態調査・課題把握、研究実践、成果の還元という見通しをもって研究を進める。

2 教育関係職員研修

教育関係職員としての自覚を深め、教育の理念に基づき、資質能力の向上を図るとともに、教育指導に関する基礎的、専門的知識・技能の充実や指導力の向上を目指して、教育実践の場に直結した研修を実施する。

3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料の貸出し等を行う。

5 生徒実習

農業教育（農業教育共同実習所）

県内の高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を習得させ、実践力を高めるため、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

第 2 節 事業概要

1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- (1) 学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- (2) 研究と研修との連携を一層図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- (3) 研究成果の発信と学校現場への普及・活用を図る。（研究発表会、研究紀要、ウェブページ、研修講座等）

平成26年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	教師を育てる教師の育成と研修の在り方に関する研究	今日の教育課題となっている教師を育てる教師(研究主任、研修主任、教務主任等)の育成に関して、「教育研究リーダー養成研修」の成果が所属校でどのように生かされ、具体的な行動として発揮されているのかを調査・分析する。あわせて、ミドルリーダーに必要な資質能力と実践力の関係性から、ミドルリーダー育成の効果的な方策を探る。	共同研究 (協力校) 大学連携
	2	高等学校における道德教育の推進の在り方に関する研究	今次学習指導要領では、「道德教育の充実」が大きな柱となっている。教育課程に道德の時間が位置付けられていない高等学校においても、道德教育の全体計画の下、全教師が協力して道德教育を推進することが求められている。そこで、高等学校における道德教育の推進の在り方を、実践を通して研究する。	共同研究 (協力委員)
	3	高等学校における多様な評価手法に関する研究	生徒の思考力、判断力、表現力及び興味、関心、意欲等が高まったかを適切に評価する方法について研究を行う。各教科の学習活動について学習到達目標を明確にしたパフォーマンス課題及びルーブリックを作成して、実際に評価を行い、この評価手法の妥当性・信頼性について検証し、生徒の資質能力の向上に資するよう研究する。	共同研究 (協力委員) 本庁連携
		小中学校における多様な評価手法に関する研究	授業や教科外活動の分析を通して、児童生の示す表面的な結果の他、そこに及ぶ内的な状況を推察し、適切な評価と指導につなげる授業洞察力について研究する。	所内研究
	4	豊かな人間性を育む指導の在り方に関する研究	当センターで5年に一度実施している「愛知県における児童生徒の生活の実態及び指導に関する調査研究」において、「豊かな人間性の育成」に焦点化した研究に取り組む。平成26年度に調査を実施し、その結果を基に児童生徒の豊かな人間性に関わる課題を分析する。それを踏まえた上で、学校現場における教育活動改善の在り方を探る。	共同研究 (協力委員)
	5	児童生徒の情報モラルの指導法に関する調査研究	児童生徒のインターネット利用に関する実態を把握するとともに、児童生徒の発達段階に応じた体系的・効果的な指導法について研究し、児童生徒の情報モラル向上を図る。	共同研究 (協力委員)
	6	教育相談における校内支援体制に関する質的研究	いじめ、不登校などへの対策が重要な教育課題となっている中で、児童生徒を組織として支援する教育相談体制の充実は必須である。教育相談の実績を積んだ者、特に学校におけるチーム援助の優れた実践者が蓄積した経験知を明らかにし継承する方法を研究する。	共同研究 (協力委員) 大学連携
7	障害の特性に応じた指導・支援の在り方に関する研究	一人一人の障害特性に対応した効果的な指導・支援の方法について研究する。相談を通して見られた課題を明らかにし、学校における指導・支援につなげる。また、特別支援学校と小中学校の連携を含めた地域連携の在り方について追求する。本庁と連携して取り組み、1年次は所内研究、2年次、3年次は外部研究委員と共同で研究を進める。	所内研究	
教科等の指導の充実	8	高等学校新入学生徒の学力に関する研究(国語)(数学)(英語)	全県的な規模で高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 (協力委員)
	9	教科指導の充実に関する研究(国語)(地歴・公民)(数学)(理科)(理科CST)(英語)(技術・家庭)(情報)	高等学校の教科指導の現状把握と指導上の課題等について調査研究するとともに、小中高等学校の児童生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等についても研究する。	共同研究 (協力委員)
	10	産業教育の充実に関する研究(農業・水産)(工業・商業)(家庭・看護・福祉)	産業教育に関して、生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。また、産業教育の活性化に向けた方策等について協議し、学校における産業教育の充実を図る。	共同研究 (協力委員)
	11	情報教育の充実に関する研究(インターネットの教育利用に関する調査研究:参加・交流、校内LAN)	参加・交流学习に関する調査研究、及び校内ネットワークの有効活用や運営に関する調査研究を進め、愛知エースネット等を通して発信し、教育活動全般における情報化の推進に資する。	共同研究 (協力委員)
		(ICT授業活用に関する研究)	ICT機器を活用して授業の充実を図るための研究を行い、研究成果を研修講座等で提示して、各学校にICT活用を広める。	共同研究 (協力委員)
12	特別支援教育の充実に関する研究	特別支援教育に関する部門の実践に役立つ教育情報を収集・作成する。	所内研究	

2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成26年度に実施した研修は、次のとおりである。

ア 研修区分・対象校種別講座（コース）数

対 研 修 区 分	幼 ・ 保 他	小	中	高	特	小 特	中 特	高 特	小 中	幼 小 中	小 中 高	中 高 特	幼 小 中 高	幼 小 中 高 特	小 中 高 特	幼 小 中 高 特	小 中 高 特 他	合 計		
																			基本 研修	新規採用 教員研修
		1	1	1	1			1				1							8	
		1	2	2	3							1							14	
		1		1	2	2		7	5			1							19	
		1	1					2		1							2	1	8	
		1	2	2	7	1	5	1	6	3		1	1	1		1	5	25	62	
					2	1											3		11	
		5	6	6	15	8	5	1	16	9	1	1	7	1		1	13	26	1	122

イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合 計
研修人員	教員等	434	2,059	1,361	2,022	853	53	6,782
	学校事務職員等		380		116		0	496
	計	434	3,800		2,991		53	7,278
研修延人員	教員等	1,294	7,766	4,550	7,361	2,581	120	23,672
	学校事務職員等		881		125		0	1,006
	計	1,294	13,197		10,067		120	24,678

(注1) 教員等研修のうち長期研修・派遣研修・eラーニング単独研修を除く。

(注2) 「その他」は、保育所長、保育士等。

3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為等

ウ 日時

月～金曜日 午前9時～午後5時

平成 26 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

内容別	面接相談（相談来所者総数）（人）					電話相談（回）				
	小学生	中学生	高校生	その他	合計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神	39	39	253	23	354	38	21	108	10	177
学業	57	0	17	0	74	24	9	14	1	48
不登校	75	84	419	2	580	44	73	191	4	312
いじめ	19	2	12	0	33	40	14	28	1	83
いじめ関連	(26)	(35)	(16)	(0)	(77)	(61)	(25)	(41)	(1)	(128)
非行等	6	0	34	0	40	8	7	39	2	56
性格等	2	11	34	1	48	6	12	31	0	49
進路・適性	0	0	51	25	76	4	38	46	10	98
家庭教育	95	19	105	10	229	87	60	84	6	237
その他	1	4	3	0	8	131	84	57	49	321
合計	294	159	928	61	1,442	382	318	598	83	1,381

※「いじめ関連」は、「いじめ」と「他の区分に入る相談でのいじめに関連するもの」との合計であり、すべての合計の内数として示す。

(2) 特別支援教育相談

ア 対象

特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

家庭でのしつけや育て方、就学や進路の問題、幼稚園や学校等での指導方法等

ウ 日時

月～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

平成 26 年度相談実施状況は、次のとおりである。（単位：人）

内容別	就学前	小学生	中学生	高校生	小計	保護者	教職員等	合計
家庭養育	49	50	15	2	116	154	8	278
就学	75	5	0	0	80	110	9	199
指導・支援	58	230	61	28	377	639	57	1,073
障害の程度	14	23	6	0	43	68	3	114
進路・適性	0	22	26	7	55	81	3	139
その他	0	6	0	0	6	13	19	38
合計	196	336	108	37	677	1,065	99	1,841

対象幼児児童生徒の障害別内訳

（単位：ケース）

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・ 身体虚弱	言語障害	自閉症・ 情緒障害	その他	合計
4	3	128	25	0	22	524	264	970

(3) 教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上のさまざまな問題について、専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。職務上の悩み、家族や生活上の問題、メンタルヘルスに関する問題など、平成 26 年度中に合計 230 回の相談があった。

4 教育情報収集・提供事業

(1) 教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、生徒指導データ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

(2) 図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

ア 保有数

(27.3.31 現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
46,652 冊	65,485 冊	24,071 冊	13 種	3 種

イ 平成 26 年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
244 日	789 人	5,030 冊

(3) 愛知県教育情報システム (AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

ア 主なデータベース

データベースの分野	主 な 内 容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

イ 利用方法

総合教育センターのホームページ (URL : <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>) 及び愛知エースネットのホームページ (URL : <http://www.aichi-c.ed.jp/>) から利用できる。

(4) 愛知県教育情報通信ネットワーク (愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

ア 主なサービス内容

- (ア) 公開用ホームページと内部用ホームページの開設
- (イ) 電子メールの利用
- (ウ) 愛知県教育情報システム (AIES) データの提供
- (エ) コンテンツの提供
- (オ) e ラーニングの利用

イ 利用校等

(27.3.31 現在)

校種等	接 続 数	備 考
小学校	38 校	・FTTH 等 27 校 ・ADSL 等 5 校 ・ISDN 等 6 校
中学校	15 校	・FTTH 等 10 校 ・ADSL 等 1 校 ・ISDN 等 4 校
県立学校	175 校	・FTTH 等 167 校 ・ADSL 等 8 校
その他	3 機関	・FTTH 等 1 機関 ・ADSL 等 2 機関
合 計	231 機関	・FTTH 等 205 機関 ・ADSL 等 16 機関 ・ISDN 等 10 機関

5 平成 26 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

創立 40 周年記念第 54 回愛知県総合教育センター研究発表会（平成 26 年 11 月 21 日）

研究発表（6 部会）

部会番号	主 題
1	教師を育てる教師の育成と研修の在り方に関する研究
2	高等学校における多様な評価手法に関する研究 教科指導の充実に関する研究（英語）
3	高等学校における多様な評価手法に関する研究（理科）
4	小中学校における多様な評価手法に関する研究（教科外、道徳）
5	数学における言語活動の充実と評価方法に関する研究
6	ICT の授業活用と情報モラル指導者養成の取組

(2) 主な刊行物

ア CD-ROM による研究刊行物

研究紀要 第 104 集

イ 研究紀要別冊

「平成 26 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(3) 要請訪問

県内の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあたる。

（上欄は件数、下欄は対象人数）

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 教育	その他	合計
幼 児					11							11
					47							47
児 童 生 徒		5					2		6	11		24
		419					840		2,020	4,007		7,286
教 員	3	72			49	2	10	2	8	14	13	173
	65	1,233			2,166	70	578	30	410	932	457	5,941
P T A	1						1			8		10
	41						100			550		691
一 般 (高 齢 者)										2		2
										390		390
一 般 (サークル)												
そ の 他		8			27		5					40
		191			613		124					928
合 計	4	85			87	2	18	2	14	35	13	260
	106	1,843			2,826	70	1,642	30	2,430	5,879	457	15,283

（各部の総計）

(4) 教育研究サポートデスク相談件数

校数（人数）

小学校	中学校	高等学校・特別支援学校	その他	合計
1 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (4)

6 平成 26 年度生徒実習の概要

農業教育（農業教育共同実習所）

(1) 生徒実習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生）

ア 参加生徒

※（ ）は女子（内数）

区 分	農園系学科	農土林系学科	生活食科系学科	総合学科	計
参加学級数	17	7	8	2	34
参加生徒数	652 (392)	249 (80)	299 (242)	74 (44)	1,274 (758)
宿泊延べ生徒数	1,869 (1,114)	747 (240)	595 (482)	147 (88)	3,358 (1,924)
日 程	3泊4日	3泊4日	2泊3日	2泊3日	
参加学科・系列数内訳	農業(3) 園芸(3) 農業園芸(2) 施設園芸(1) 生物工学(2) 動物科学(2) 生物生産(2) 園芸科学(2)	農業土木(1) 林業(1) 林産工芸(1) 森林環境(1) 環境デザイン(3)	生活科学(4) 食品科学(3) 人と自然(1)	アグリサイエンス(1) 環境デザイン(1)	

イ 実習内容

(ア) エンジン分解・組立実習

学科系	コース	実 習 内 容	実施学科・系列数	
			農園系	農土林系
農園系・農土林系	A	2機種分解・組立 4サイクルガソリンエンジン 2サイクルガソリンエンジン	3	1
	B	2機種分解・組立 男子：4サイクルディーゼルエンジン及び4サイクルガソリンエンジン 女子：4サイクルガソリンエンジン及び2サイクルガソリンエンジン	14	6
生活食科系		4サイクルガソリンエンジンの分解・組立	8	
総合学科		アグリサイエンス系列：4サイクルガソリンの分解・組立 環境デザイン系列：4サイクルエンジン(ディーゼル又はガソリン)の分解・組立	2	

(イ) 運転実習

学科・系列	実 習 内 容	実施学科・系列数
農園系	トラクタ基本運転3コースのみ	2
	トラクタ基本運転3コース・総合運転と下記の応用運転	
	トラクタ応用運転（けん引・ホイールローダ）	2
	トラクタ応用運転（けん引・フォークリフト）	2
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・ホイールローダ）	1
	トラクタ応用運転（ホイールローダ・ドラグショベル）	8
	トラクタ応用運転（ホイールローダ・フォークリフト）	1
農土林系	トラクタ基本運転1コースと下記の施工機械運転	
	ブルドーザ・ホイールローダ・ドラグショベル	2
	ブルドーザ・ドラグショベル・フォークリフト	2
生活食科系	ホイールローダ・ドラグショベル・フォークリフト	3
	トラクタ基本運転3コース	8
総合学科	アグリサイエンス系列はトラクタ基本運転3コース	1
	環境デザイン系列はトラクタ基本運転と施工機械運転（ブルドーザ、ドラグショベル、ホイールローダ）	1

(2) 資格取得講習

（対象：県内高等学校の農業に関する学科・系列で学ぶ3年生の希望者）※（ ）は女子（内数）

講 習 名	日 程	参加人数
小型車両系建設機械（3t未満）運転業務講習	2日（4回）	35（5）
フォークリスト（1t未満）運転業務講習	2日（6回）	22（3）
農業機械技術講習	1日（2回）	15（4）
大型特殊自動車運転技能講習	3日（2回）（自由練習6日）	8（1）
計		80（13）